文部科学省実施
地域イノベーション戦略支援プログラムとは

地域イノベーション戦略支援プログラムは、地域イノベーション戦略推進地域（P3参照）に選定された地域のうち、文部科学省による支援が地域イノベーション戦略の実現へ大きく貢献すると認められる地域に対して知的財産の形成や人材育成など、地域の主体的・自立的な活動展開に対する支援を行う事業です。以下のメニューから構成されており、各地域は、これらを組み合わせて事業を実施することとなります。

①地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積

地域イノベーション戦略の中核を担う卓越した研究者を有する地域において、その研究者と同レベルの研究者又はその研究者に次ぐ若手人材の不足により十分な研究の展開が図れなくなることを防ぐためには、地域イノベーション創出の源泉である研究者の戦略的配置が必要です。

そのため、地域イノベーション戦略の実現に貢献し、将来の地域構想を担う次世代の研究者を、国内外問わず原則当該地域以外から招へいすることに対し、支援を行います。

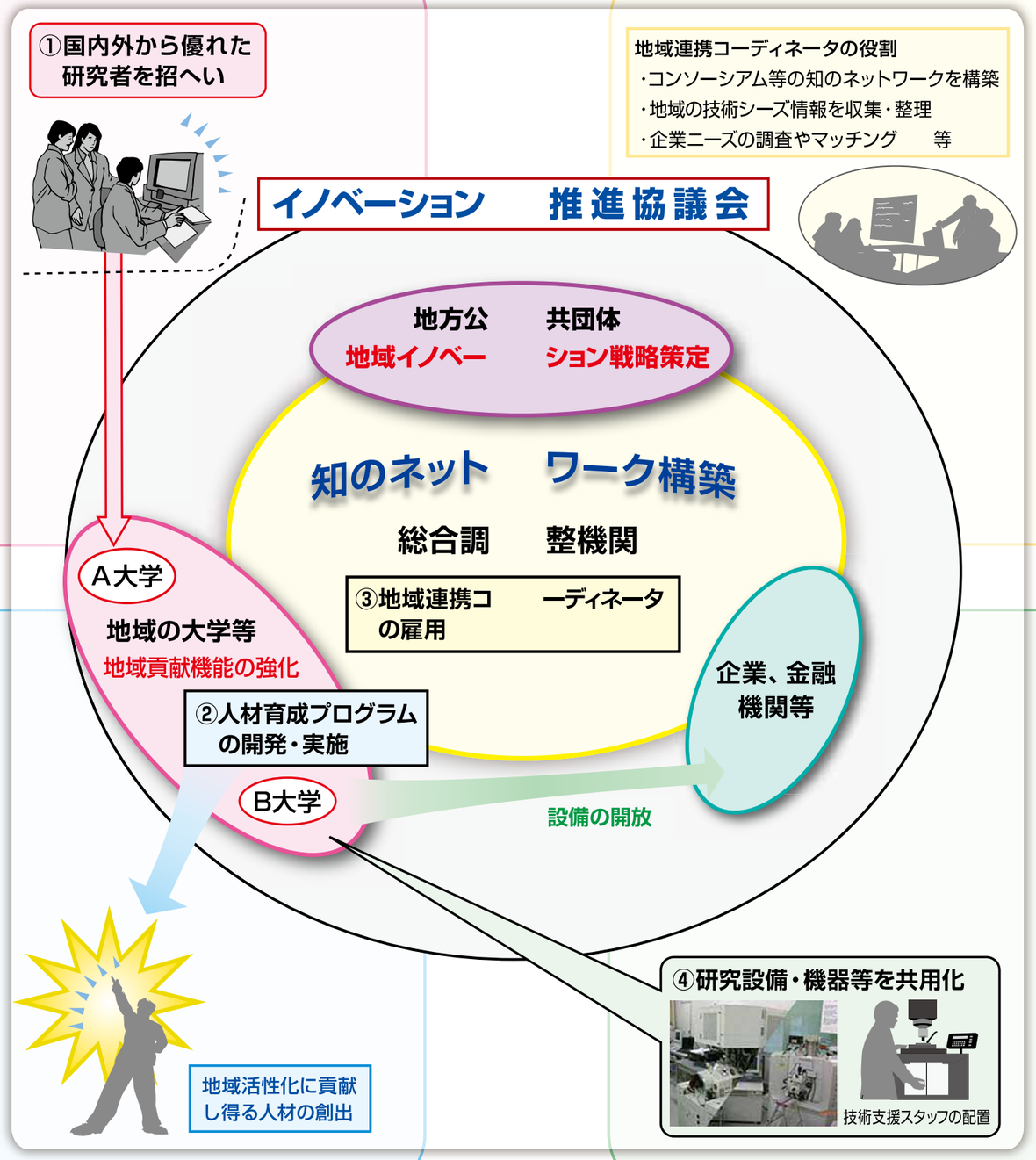
【補助対象機関】
大学等研究機関
【補助対象】
研究者の人件費（スタートアップのために必要な設備備品費及び事業実施費を含む）

②地域イノベーション戦略実現のための人材育成プログラムの開発及び実施

地域に貢献する優秀な人材を輩出し、地域戦略の実現に向けた取組を持続的なものとするためには、地域イノベーション戦略の実現に貢献する人材像を特定し、地域において継続的に人材を育成することが必要となります。

そのため、地域で活躍し、地域発の新産業創出や地域活性化に貢献する優秀な人材の育成に資するプログラムの開発及び実行に対し、支援を行います。

【補助対象機関】
総合調整機関又は大学等研究機関
【補助対象】
人材育成プログラム開発者の人件費及びその活動経費（設備備品費・事業実施費等経費）



③大学等の知のネットワークの構築

地域イノベーションの創出を実現するためには、大学等の研究機関が保有する数ある優れた研究シーズを共有し、その中から地域の企業が求める技術ニーズと合致するものを発掘して事業化へつなげていく活動が重要です。

そのため、この役割を担う地域連携コーディネータの活動に対して必要な支援を行い、コーディネータによる大学の技術シーズや企業ニーズの情報収集とそれらの整理等の活動によって、地域の大学等の間で知のネットワークを構築することを目指します。

【補助対象機関】
総合調整機関
【補助対象】
地域連携コーディネータ、プロジェクトディレクター（要件を満たす場合）の人件費、活動経費に加え、総合調整機関の活動経費（設備備品費・事業実施費等経費）

④地域の大学等研究機関での研究設備・機器等の共用化

大学等の研究機関が保有する研究設備・機器の中には、研究インフラが十分に整備されていない地域の中小企業が利用を希望しているものが数多く存在します。これらの研究設備・機器を有効に活用することで、地域の研究開発活動の活発化につながることが期待されます。

そこで、保有する研究設備・機器を地域の中小企業に開放する機関に対し、機器の操作や利用者の技術相談を受け付けるスタッフを配置し、共用化を促進するための支援を行います。

【補助対象機関】
大学等研究機関のうち、新たに外部に対して研究設備・機器等を開放する機関
【補助対象】
技術支援スタッフの人件費及びその活動経費（事業実施費等）